

渉ヲ行フヘキコトヲ宣言シ立分レトナレリ
其後露国側ハ組合代表ニ対シ暫定契約ニ依リ直ニ伐採ニ着手セムコトヲ懇懇スル所アリ二十六日露国側代表「マモノフ」ヨリ日本側ニ対シ「ハバロフスク」ニ於テ交渉ヲ継続スヘキコトヲ提議シ来リ成田代表ハ從來ノ経過ニ鑑ミ既納金問題ヲ除外シ施業案費納金期限ヲ五年位ニ延長セハ莫斯科ニ行カストモ同地ニ於テ交渉纏ルヘシトノ意見ヲ抱キ居リ二十八日「マモノフ」ト会谈ノ結果自己ノ關係アル林区ニ対シ短期払下ノ契約ヲナサントシタルモ組合ハ十二月一日同代表ニ対シ組合ニ於テハ短期契約ノ意思ナク長期利權

ヲ獲得スル方針ニテ進ムヘキ旨ヲ電報シ同代表ニ帰朝ヲ命シタリ依テ日本側代表ハ十二月初旬「ハバロフスク」ヲ出發セリ

成田代表出發前露国側ヨリ莫斯科中央利權委員會ハ林業組合ヨリ莫斯科ニ代表者ヲ派遣シ本契約ヲ締結セムコトヲ期待シ居ルニ付其際派遣セラルヘキ組合代表者氏名ヲ予メ承知シタシトノ公文書ヲ同代表ニ送付セリ

編註 右ハ大正十四年十二月欧米局第一課作成ノ森林利權交渉ノ経過概要デアルガ便宜上ココニ付載シタ

事項一六 日ソ漁業問題

六〇四 一月十五日 出淵外務次官ヨリ
四条農商務次官宛

サガレン撤兵ニ伴フ同地漁業權問題ニツキ回

答ノ件

付記 大正十三年十二月二十四日付四条農商務次官ヨリ
出淵外務次官宛水第二一四三号

通二機密第七号

薩哈噠漁業權ニ関スル件

本件ニ関シ客臘二十四日付水第二一四三号ヲ以テ御照会ノ趣了承右ニ関シテハ(一)貴信前段即チ薩哈噠ニ於ケル漁業權ニ付テハ其ノ「ポーツマス」条約ニ基キ本邦人ニ許与セラレタルモノナル限り之ヲ確保スヘキハ言フ迄モ無之現ニ北京会商ニ於テモ芳沢公使ヲシテ折角之カ主張ヲ為サシメ居リ次ニ(二)中段上半即チ八木実通請願ニ係ル本年度漁区繼續貸下方ニ付テハ御来示ト全然同意見ニ有之尚(三)中段下半即チ不落漁区ニ於ケル漁業用物件ノ処分ニ付テハ其ノ処分カ

撤兵前ナルニ於テハ大正十年薩哈噠軍政部々令第一号第二十一条ノ規定ニ依ルコト可然ト認メラレ候將又四後段即チ若シ薩哈噠派遣軍ノ撤退カ本年度漁期中行ハルル場合ニ於テ許可期間中ノ漁業權ノ保障方ニ付テハ前記漁業用物件ノ処分方ニ関シ撤兵後ニ行ハルルモノト共ニ露国側ト何等協定ヲ遂クルノ必要認メラルルニ於テハ当省ニ於テモ適宜考慮スルコトアルヘキモ寧ロ右撤兵ニ際スル軍政引継ノ場合陸軍当局ヲシテ露国当局ニ一応申入レシムルコト可然歟トモ思考致候条右ニ御了知相成度此段回答申進候也

(付記)

四条農商務次官ヨリ出淵外務次官宛水第二一四三号

水第二一四三号

大正十三年十二月二十四日

農商務次官男爵 四条 隆英(印)

外務次官 出淵 勝次殿

今般薩哈噠州派遣軍ノ漁業管理区域内ニ於テ漁業ニ従事ス

ル八木実通ヨリ同人カ予テ貸下認許ヲ受ケ経営シ本年ヲ以テ期間満了セル「タムレオ」第十五号E漁区ノ明年度ニ於ケル特別継続貸下ノ義ニ関シ請願有之候北樺太沿岸ニ於ケル邦人ノ漁業権ハ御承知ノ通り現行漁業協約ニ依リ確保セラレタル利権ナルモ近時露西亜国側ニ於テハ此等ノ邦人ノ利権ヲ拒否セントスルカ如キ傾向有之候ニ付テハ此点ハ是非トモ適當ノ機會ニ邦人ノ利権確保方交渉相煩度次ニ本請願ノ当面ノ趣旨タル継続貸下ノ点ニ付テハ同軍ノ漁業管理カ仮ニ明年度ニ於テ継続実施セラルルモノトスルモ同軍ノ規定上許容シ能ハサルモノノミナラス右漁業管理ノ性質上容認シ難キ事態ノモノト認メラレ候条本件請願ハ右方針ニ依リ之ヲ措置スルコトト致度尚北樺太ニ於ケル邦人所有ノ漁業用物件（其種類及価額ニ付テハ軍政部ニ於テ精査済）ニ関シテハ将来現邦人企業者以外ノ者ニ関係漁場ノ落札シタル場合ニ於テハ右落札者ニ於テ相当ノ価額ヲ以テ買取ル様致度次ニ前記派遣軍ノ占領区域内ニ於ケル明年度ノ漁業ニ関シ同軍ハ北京ニ於ケル日露交渉ノ成行上目下ノ処ハ從來通ノ方針ニテ之ヲ処置スルコトト相成居ル趣ニ有之候処若シ同軍ノ撤退カ明年度漁業開始前若ハ開始中ニ行ハルル

場合ニ於テハ占領中同軍ニ依リ許可ヲ受ケ規定上尚期間中ニ属スルモノト認メラルヘキ漁区又ハ製魚区ニ関スル営業ノ継続ハ不安ニ堪ヘサル趣ヲ以テ從來屢當該關係者ヨリ陳情有之事情尤ノ次第ト認メラレ候ニ付テハ同軍カ占領以前露国政府ノ許可シタル漁業ノ權利ヲ尊重シタル事例モ有之候ニ付右期間中ニ属スルモノト認メラルヘキモノニ付テハ其期間中ニ限り従前ノ通之カ経営ヲ為シ得ル様適當ナル機會ニ於テ露国当局ト交渉ヲ遂ケ關係業者ヲシテ營業ヲ継続セシメ得ル様致度候条御考量相煩度此段及照会候也追テ前記八木実通ノ請願書ハ別途貴省ヘ提出セル趣ニ付添付ヲ省略致候又薩哈噠州派遣軍ノ規定ニ依リ大正十四年度ニ於テ本邦人ニ継続貸下ヲ許可シ得ヘキ漁区及製魚区ハ別表ノ通三十二箇所ニ有之候条御合置相成度右申添候也

大正十四年度貸下継続許可シ得ヘキ漁区及製魚区表

種別	黒龍江海灣箇所	ノイスキー	計
鮭鱒漁区又ハ鮭鱒漁区	三	二一	二四
蟹漁区	一	二	二
鮭鱒製魚区	九	二三	三二

六〇五 一月十七日 露領水産組合ヨリ
外務省通商局第二課宛

漁区競売ヲ從來通り浦潮ニテ施行スル様配慮
方願出ノ件

受第一八号 (一月十九日接受)

大正十四年一月十七日

露領水産組合 (印)

外務省通商局第二課御中

昨十五日御送付相煩候在哈府山口領事発到着電ニ依レハ本年度漁区競売ハ哈府ニ於テ施行セラルルヤモ計ラレサルトコロ斯クテハ事実上本邦漁業者カ競売ニ参加スル場合ニ不便尠ナカラサルノミナラス自然参加者モ減少スヘク且又從來一年タリトモ哈府ニ於テ施行セラレタルコト無之次第二付右施行地確定前ニ於テ從來通浦潮ニ於テ施行スル様露側ヘ交渉方可然御配慮相成度此段及御願候也

六〇六 一月十七日 佐分利外務省通商局長ヨリ
烟陸軍省軍務局長宛

サガレン漁区及ヒ製魚区ノ競売発表延期方申

入レノ件

一六 日ソ漁業問題 六〇五 六〇六 六〇七 六〇八

通二機密第二号

大正十四年競争ニ依リ貸下ニ付スヘキ薩哈噠
漁区及製魚区ニ関スル件

本件ニ関シ本月六日付軍事発第一号ヲ以テ御照会ノ趣了承右競売ノ巨細ノ点ニ付テハ姑ラク之ヲ擱キ本月三十一日漁区及製魚区ノ発表ヲ行フコトハ北京ニ於ケル日露会商ノ現状ニ鑑ミ望マシカラサルコトト思考セラレ候ニ付暫ク右期日延期方御考慮相成候様致度依命此段回答申進候也追テ本件御措置振ニ付テ何分ノ義御回示相煩度此段申添候也

六〇七 一月二十日 幣原外務大臣ヨリ
在ハバロフスク山口領事宛 (電報)

漁区競売ヲ浦潮ニテ行フ様交渉方訓令ノ件

第一号
貴電第一号ニ関シ

從來通り浦潮ニ於テ執行スル様貴地当局ニ対シ篤ト御交渉ノ上結果電報アリタシ

六〇八 一月二十一日 烟陸軍省軍務局長ヨリ
佐分利外務省通商局長宛

八六五

サガレン漁区及ビ製魚区ノ競売発表延期措置
ニツキ通報ノ件

軍事発第六号

(一月二十二日接受)

大正十四年一月二十一日

陸軍省軍務局長 畑 英太郎 (印)

外務省通商局長 佐分利 貞男殿

大正十四年度競争ニ依リ貸下ニ付スヘキ漁区

及製魚区ニ関スル件通牒

首題ノ件ニ関シ本月十七日付通二機密第二号ヲ以テ御回答ノ趣了承別紙写ノ通薩哈噠州派遣軍ヘ電報致置候条承相知相成度候也

(別 紙写)

大正十四年一月二十一日

陸軍省軍務局長

薩哈噠州派遣軍參謀長殿

本年競争ニ依リ貸下ニ付スヘキ漁区及製魚区ニ関スル細部ノ意見ハ追テ示スヘキモ本月三十一日漁区及製魚区ノ発表ヲ行フコトハ北京ニ於ケル日露交渉ノ現状ニ鑑ミ暫ク差控ヘラレタシ

六〇九 一月二十三日

在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛 (電報)

競売地変更ニツキ連側ニ申入レノ結果報告

ノ件

第二号

貴電第一号ニ関シ

Golovskoy ニ申入タル処競売執行地ハ未タ確定シタルニアラス当地ニ予定シ居タルニ止マルモ我方ノ申入ニ依リ審議ノ上不日回答スヘキ旨答ヘタリ尚漁区開設願ハ未タ日本当業者ヨリ提出ナキモ右ハ至急提出セラレタキ旨述ヘタリ

六〇一〇 一月二十九日

在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛 (電報)

漁区競売地ニツキ農務全權代理ニ申入レノ結果報告ノ件

第六号

往電第二号ニ関シ

先般農務全權代理 Shinkin (Manonoff ハ地方出張中)ニモ会見シ当業者ノ不便ヲ力説シタル処同官ハ篤ト審議ヲ遂ケ置ク趣ヲ以テ本二十九日会見ヲ約シタルニ付同官ヲ訪

問シタル処同官ハ極東中央機關總テ当地ニ在リ右行政機關ノ組織上到底浦潮ニ於テ競売ヲ執行スルコトヲ許ササルニ依リ遺憾ナカラ我方ノ申入ニ応シ難シ尤モ日本当業者ノ不便トスル点ハ之カ除去ニ努ムヘク保証金ノ如キハ朝鮮銀行ノ小切手ニテ差支無キ旨言明セリ尚漁区表ハ二月初旬発表ノ趣ナリ

六〇一一 二月二日

四条農商務次官ヨリ
出洲外務次官宛

サガレン撤兵ニ伴フ同地漁業權問題ニツキ

連当局ト交渉方要請ノ件

水第二一四三号ノ内

(二月三日接受)

大正十四年二月二日

農商務次官男爵 四条隆英 (印)

外務次官 出淵勝次殿

一月十五日付通二機密第七号ヲ以テ御回答相成候薩哈噠漁業權ニ関スル件了承就テハ既ニ調印ヲ了シタル日露両国間ノ基本条約議定書ニ依レハ薩哈噠州派遣軍ノ撤退ハ本年四月中旬ヨリ五月半迄ニ完了ノ趣ニ有之候処同期ハ韃靼海灣沿岸漁区ニ於ケル鯨蟹鱈等ノ漁期ニ相当シ右交渉ヲ軍

政引繼ノ際マテ遷延スルハ漁業時期ヲ失スル次第ニ有之既ニ漁業準備ニ着手セル關係当業者殊ニ昨年末大正十年薩軍令第三号漁区及製魚区貸下令第六条ノ規定ニ依リ既ニ繼續許可ヲ受ケタル者ノ本年以降ノ漁業經營ニ関シ憂慮スル所ニ有之又同軍カ右貸下令施行規則付則第四条ニ依リ露国政府ノ許可シタル漁業權ヲ尊重シタル事例モ有之候条別途御承知ノ通り当業者ヨリ本年度薩哈噠ニ於ケル漁業經營ノ為メ關係漁区 (製魚区ヲ含ム以下同シ) ニ付露国当局ニ之カ開設出願ヲナスヘキヤニ関スル照会ニ対スル措置ト牽連シ左記方針至急貴省ニ於テ露国当局ニ対シ御交渉相成候様御配慮相煩度此段及照会候也

記

(一) 漁区及製魚区中前記薩軍令第三号漁区及製魚区貸下令第六条ノ規定ニ依リ昨年末既ニ繼續貸下許可アリタルモノ軍ノ調査ニ依レハ二十三件ニ付テハ露国当局ヲシテ其貸下条件並ニ借区料ヲ變更スルコトナク繼續經營ヲ認メシムルコト

(二)右ノ規定ニ依リ尚將來繼續貸下ノ請求權ヲ有スル者ニ付
テモ其期間内ハ從來ノ貸下条件並ニ借区料ヲ變更スルコト
ナク許可セシムルコト

(三)(1)前記(一)及(二)以外ノ漁区ニシテ從來薩哈噠軍ニ於テ發表
シタルモノ及新規開設出願ニ係ル漁区ニ付テハ露国側ヲシ
テ必ス之ヲ發表セシメ一般露領ニ於ケル漁区ノ競売ト共ニ
浦潮ニ於テ一括シテ同時ニ競売施行ヲ為サシムルコト

(2)此場合ニ於テ前記漁区カ前邦人經營者以外ノ者ニ競落シ
タル場合ニ於テハ其邦人所有ノ残留漁業用物件ニ付テハ右
所有者カ相当期間内ニ之ヲ除去セサルトキハ新借区者ハ相
当価格ヲ以テ之ヲ買取ル様露国当局ヲシテ尽力セシムルコ
ト(漁区及製魚区貸下令施行規則第二十一条参照)

六一二 二月二日 齋藤外務省通商局長代理ヨリ
岩倉工船蟹漁業水産組合組長宛

本邦漁業者ガソ連側ト随意的契約ヲ取結バム
トスルトキハ予メ当局ト協議スベキ旨通達ノ
件

通二機密第一八号

本邦漁業者ノ露国側トノ随意的契約ニ関スル件

露領近海ニ於ケル本邦人ノ漁業ニ関シテハ水域ニ対スル露
国ノ管轄權問題ニ付日露兩國間見解ヲ異ニシ居リ之カ推移
如何ニ由リテハ兩國間ニ商議開始ノ必要ヲ見ルヤモ測リ難
ク思考セラレ候処此ノ時ニ當リ本邦人ニシテ右漁業ニ付隨
意ニ露国当局又ハ當業者ト何等協定又ハ契約ヲ取結フカ如
キコトアラハ其ノ性質条件如何ニ由リテハ本邦當業者ノ一
般的利害ニ影響スルトコロアルノミナラス前記對露交渉上
不慮ノ障害ヲ招ク虞アリト認メラレ候ニ付右御了知ノ上篤
ト貴組合員ニ御示達相成度尚貴組合員ニシテ叙上協定又ハ
契約ヲ取結ハムトスルトキハ予メ当局ヘ協議スル様御取計
相成度此段申進候也

六一三 二月三日 三井農商務省水産局長、齋藤外務省通商
局長代理ヨリ
酒井露領水産組合組長宛

本邦漁業者ガソ連側ト随意的契約ヲ取結バム
トスルトキハ予メ当局ト協議スベキ旨通達ノ
件

通二機密第二五号

本邦漁業者ノ露国側トノ随意的契約ニ関スル件

露領沿岸ニ於ケル本邦人ノ漁業ニ付テハ早晚之カ国際条約
改訂ノ運ニ至ルヘク又露領近海ニ於ケル本邦人ノ漁業ニ付
テハ水域ニ対スル露国ノ管轄權問題ニ付日露兩國間見解ヲ
異ニシ居リ之カ推移如何ニ由リテハ兩國間ニ商議開始ノ必
要ヲ見ルヤモ難測ト思考セラレ候然ルニ此ノ時ニ當リ本邦
人ニシテ此等漁業ニ関シ随意ニ露国当局又ハ當業者ト何等
協定又ハ契約ヲ取結フカ如キコトアラハ其ノ性質条件如何
ニ由リテハ本邦當業者ノ一般的利害ニ影響スルトコロアル
ノミナラス前記對露交渉上不慮ノ障害ヲ招ク虞アリト認メ
ラレ候就テハ右御了知ノ上篤ト貴組合員ニ御示達相成度尚
貴組合員ニシテ叙上協定又ハ契約ヲ取結ハムトスルトキハ
予メ当局ヘ協議相成様御取計相成度此段申進候也

六一四 二月六日 出淵外務次官ヨリ
四条農商務次官宛

サガレン撤兵ニ伴フ同地漁業權問題ハ軍政引
継ノ際協議スルコトガ便宜ノ旨回答ノ件

通二機密第一二二号

薩哈噠撤兵ノ際漁業權善後措置ニ関スル件

本件ニ関シ本月二日付水第二一四三号ノ内貴信ヲ以テ御照

一六 日ソ漁業問題 六一四 六一五

会ノ趣了承然ルニ薩哈噠派遣軍ノ軍政引継ニ関シ不遠同地
ニ於テ日露兩國委員間ニ交渉開始ノ運ニ至ルヘキ見込ニ付
本件ハ其ノ際我方委員ヲシテ先方委員ト協議決定セシムル
コト便宜ト被認候条右ノ旨陸軍省ニ御照会相成候様致度此
段回答申進候也
追テ本文趣旨ハ陸軍省ヘ通知致置候条右ニ御了知相成度此
段申添候也

六一五 二月六日 出淵外務次官ヨリ
津野陸軍次官宛

サガレン撤兵ニ伴フ同地漁業權問題ニツキ申
進ノ件

通二機密第五号

薩哈噠撤兵ノ際漁業權善後措置ニ関スル件

本件ニ関シ今般農商務次官ヨリ別紙甲号写ノ通り照会ノ次
第有之候ニ付別紙乙号写ノ通り回答致置候間委曲別紙ニ就
キ御了知相成度此段為御参考申進候也

追テ別紙甲号写ニ依レハ大正十三年末薩哈噠軍ニ於テ漁区
ノ繼續貸下ヲ許可シタルモノ二十三件有之候趣ノ処本件ニ
関スル對露交渉ノ結果予測シ難シト被思考候ニ付此際右漁

区関係者ヲシテ右交渉ニ対シ安意囑望セシムルコトハ得策ナラサルカ如ク被認候右為念申添候也

編註 別紙甲号ハ二月二日付農商務次官ヨリ外務次官宛公信第

二一四三号ノ内ヲ指ス

別紙乙号ハ二月六日付外務次官ヨリ農商務次官宛通二機

密第一二号ヲ指ス

六一六 二月七日

在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漁区競売期日延期方申入レノ結果報告ノ件

第七号

漁区競売期日ハ露国側ニ於テ三月五日ニ予定シ居ルコトヲ聞込ミ右ニテハ二月二十八日發嘉義丸便ニテ渡航スルトシテモ競売執行当日來「ハ」スルコトナリ競売参加ノ準備ニ差支アル旨ヲ以テ日延ヘヲ申込ミタル所八日ニ延ハセリ漁区表及借区条件ハ明後九日接手ノ筈ナリ

六一七 二月九日

三井農商務省水産局長ヨリ
佐分利外務省通商局長宛

競売執行地ヲ浦潮ニ変更スルヨウ重ネテ交渉

方要望ノ件

十四局第一七五号

(二月十日接受)

大正十四年二月九日

農商務省水産局長 三井 米松(印)

外務省通商局長殿

一月三十日付通二普通合第一六二号ヲ以テ御送付相成候本年度露領沿岸漁区競売地変更方ニ関スル件了承右ニ依レハ露国当局ハ漁区ノ競売執行地ヲ浦潮ニ変更スルコトハ行政機關ノ組織上我方ノ申入ニ応シ難キ趣ノ処從來漁区ノ競売ハ主要行政機關カ浦潮以外ノ地ニ在リシ場合ト否トヲ問ハス連年慣例的ニ浦潮ニ於テ行ハレタル沿革アルニモ拘ラス遂ニ之ヲ変更スルコトハ本邦當業者ニトリ頗ル不利不便ナル趣指摘相成露側ニ於テ再考スル様重ネテ御交渉相煩度而シテ尚ホ我望望ノ達セサル場合ハ止ムヲ得サル次第第二付將來此点ニ関スル交渉ノ余地ヲ留保シ置ク様可然御配意相煩度此段及照会候也

六一八 二月十日

在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漁区表発表ニツキ報告ノ件

第九号

今回発表ノ漁区表ニ依レハ一般漁区二百二十四内組合出願

ノ分六十四蟹漁区四十内組合出願ノ分十四鱒漁区三十七内組合出願ノ分十一ナリ借区期間ハ蟹鱒漁区共凡テ二ケ年一般漁区ハ一ケ年漁区二十八ノ外凡テ二ケ年ナリ漁区番号及漁獲制限ハ組合出張員ヨリ電報セシニツキ略ス借区条件ハ一般漁区ノ分ハ昨年ト同様蟹漁区ノ分ハ昨年度借区条件第十三条備考第二ヲ削除シ同第三十条規則及訓令ノ次ニ「漁獲及製漁ノ制限」ヲ加ヘ鱒漁区ノ分ハ多少ノ変更アリタル趣ニ付取調ノ上通報ス可シ

六一九 二月十四日

四条農商務次官ヨリ
出淵外務次官宛

サガレン撤兵ニ伴フ同地漁業權問題ニツキ陸

軍省ニ照会シタル旨申進ノ件

水第二二四三号

(二月十六日接受)

大正十四年二月十四日

農商務次官男爵 四条 隆英(印)

外務次官 出淵 勝次殿

二月六日付通二機密第一二号ヲ以テ御申越相成候薩哈噠撤兵ノ際漁業權善後措置ニ関スル件了承就テハ本件ヲ軍政引繼ノ際ノ協議ニ付スルコトハ既ニ申進候通當省トシテハ難

一六 日ソ漁業問題 六一九 六二〇 六二一

靉海灣ニ於ケル漁期ヲ逸スル虞アリト認メラレ候得共御意見ノ存スル次第モ有之候ニ付今回別紙寫ノ通陸軍省ニ対シ照会致候間右御了知相成度尤モ前記軍政引繼ノ際ノ協議整ハサル場合ハ本年一月十五日付通二機密第七号ヲ以テ御申越相成候薩哈噠漁業權ニ関スル件申中ノ四ノ趣旨ニ依リ本件協定方貴省ニ於テ更ニ御考量相成度此段申進候也

六二〇 二月十七日

幣原外務大臣ヨリ
在ハバロフスク山口領事宛(電報)

河川漁区ノ競売ヲ浦潮ニテ施行スルコトニ関

連シ再考ヲ申入レ方訓令ノ件

第二号

貴電第六号ニ関シ

組合着電ニ依レハ河川漁区ノ競売ヲ浦潮ニ於テ執行スル趣ノトコロ右事実トセハ海面漁区ノ競売地ヲ同地ニ変更スルコトモ別段差支ナカルヘシト考ヘラルルニ付猶一応右変更方申入レラレ結果電報アリタシ

六二一 二月十八日

在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

競売地変更ニツキ連側ニ申入レノ結果コレ

八七一

ニ応ジ難シトノ回答アリタル旨報告ノ件

第一四号

(二月十九日接受)

貴電第二号ニ関シ

「スリンキン」ニ申入レタル所同官ハ「ゴロヴスコイ」立会ノ上河川漁区ノ競売ヲ浦潮ニ於テ執行スルコトハ事実ナルカ右漁区ハ昨年度不落ノモノニ限り其数約五六箇所ニ止マリ且河川漁区ニ関シテハ規則上漁業厅长官カ同庁派遣員ニ競売ノ執行ヲ委任シ又競落漁区ニ対シ競落者トノ借区契約ノ締結ヲ委任スルコトヲ得ルコトナリ居ルモ海面漁区ニ関シテハ全然其趣ヲ異ニシ漁区其モノカ国家的意義ヲ有スルモノニシテ漁業長官自ラ競売ヲ執行シ競売ノ結果ニ関シ農務全權ノ承認ヲ要シ借区契約当事者トシテ直接当業者ト契約ヲ締結シ契約ノ承認ヲ受クルタメ自ラ公証人役場ニ出頭スルヲ要スル等ノ事情アル趣ヲ以テ我方ノ申入レニ応シ難キ旨答ヘタリ尚「ゴロヴスコイ」ハ昨年ハ借区契約ノ締結ニ手間取り漁期ノ終リニ至リ漸ク其手続ヲ完了シタル有様ニテ之レカ為種々ノ不便ヲ招キタル次第ニ付本年ハ競落漁区ニ対シ仮証書発給ノ手続ヲ採ラス契約書所持者ニ限り漁業経営ヲ許スコトトスヘク從テ契約手続ヲ急速完了ス

売当日迄ニ債務ヲ調整スルヲ要ス海面漁区ノ競売ニハ外国市民モ亦参加スル事ヲ得

六二二 二月二十日

幣原外務大臣ヨリ
在中国芳沢公使宛(電報)

漁区競売地ノ浦潮復旧ニツキカラハンニ尽力

申入レ方訓令ノ件

第一〇八号

露国当局ハ三月八日「ハバロフスク」ニ於テ漁区ノ競売ヲ行フ旨ヲ發表シタルトコロ斯クテハ本邦漁業者ノ不便失費多大ナルニ付競売地ヲ浦潮ニ復旧スル様山口ヲシテ再三交渉セシメタルモ先方ハ漁業庁其ノ他關係官庁カ「ハバロフスク」ヘ移転シタル理由ヲ以テ右申入ヲ拒絕セリ右ニ関シ当業者ハ曩年漁業庁等カ同地ニ在リシ当時ニ於テモ常ニ競売カ浦潮ニ於テ執行セラレタル事実ニ顧ミ全然期待ニ反シタルモノトナシ甚シク失望シ居ルトコロ本件ハ漁業協約改訂ノ際浦潮ニ於ケル競売執行ヲ固執セムトスル我方方針ニモ重大關係アルニ付右御含ノ上「カラハン」ニ対シ競売地復旧尽力方篤ト申入レラレ結果電報アリタシ

ルタメニハ昨年ノ如ク競落者代理人ニ対スル委任状ノ証明ヲ取ルノ面倒ヲ避クルタメ直接競落者ト契約ヲ締結スルコトトナルヘキ旨語レリ

六二二 二月十九日

在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漁区競売ニ関スル公告ニツキ報告ノ件

第一五号

漁区競売ニ関シ十九日当地新聞ニ漁業長官ヨリ大要左ノ公告ヲ為セリ

一九二三年十月二十九日食料人民委員会ノ認可セル一般国家的意義ヲ有スル漁場貸下規定ニ基キ「オホツク」勘察加沿岸海面漁区下ニ在ル漁区及河川漁区ヲ異リタル借区期間ニテ貸下ノ為競売ヲ執行スヘシ海面漁区ノ競売ハ本年三月八日午前十時「ハ」府漁業庁内ニ於テ開始シ入札ノ方法ヲ以テ執行スヘシ「オホツク」勘察加沿岸ニ於ケル河川漁区ノ競売ハ三月一日午前十時浦潮漁業庁全權事務所内ニ於テ口頭入札併用法ヲ以テシ入札ハ正午迄受付ク可シ共和国連盟ノ国家的産業組合の公共的団体及施設並個人ハ競売参加者タル事ヲ得但シ漁業庁ノ債務者タル前記団体及個人ハ競

六二四 二月二十六日

在中国芳沢公使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漁区競売地復旧困難ノ趣ニツキ重ネテカラハンニ尽力方申入レタル旨報告ノ件

第一八八号

(二月二十七日接受)

往電第一七〇号ニ関シ

二月二十五日宮川ヨリ「カラハン」ニ対シ本件莫斯科及「ハバロフスク」ノ回電振リヲ尋ネタルニ同氏ハ「ハバロフスク」ヨリハ已ニ回電アリ競売ノ期日及場所ハ已ニ公表シタル上競売ニハ多数露国人モ参加スヘキニ由リ今更日本人ノ利益ノ為メニ而已競売ノ場所ヲ變更スルコトハ困難ナリトコトナリ右ノ趣ハ莫斯科ヘモ電報アリタル筈ナレハ近々同地ヨリモ何トカ回電アルヘシト思考スト述ヘタルニ依リ宮川ハ更ニ貴電第一〇八号ノ趣旨ヲ繰返シ説明スルト共ニ競売参加者ハ從來トモ日本人大多數ヲ占メ居ルヲ以テ競売地ノ浦潮復旧ハ露国人ニ対シ左シタル影響トハナラサルコトト信ス是レ競売カ從來常ニ浦潮ニ於テ行ハレタルニ觀テモ明カナルニアラスヤ然ルニ今ヤ条約ノ効力發生モ目睫ノ間ニ迫リ居ルニ拘ハラス重大ナル關係ヲ有スル本邦漁

業家ニ対シ競売当日一日ノ為メ多額ノ旅費ト日数トヲ費ヤシムル結果トナルカ如キ条約締結前乃至帝政時代ニ於ケルヨリモ遙ニ不便不利ナル事態ヲ実現スルコトハ我カ漁業家ノ最モ意外且失望スル所ニシテ是非トモ右当業者ノ為メ其希望ヲ支持シテ再応莫斯科ノ注意ヲ喚起セラレンコトヲ望ムト述ヘタルニ「カラハン」ハ兎ニ角之ヲ承諾セル趣ナリ

六二五 二月二十六日 在中国芳沢公使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

カラハンノ尽力ニ対シ感謝ノ意ヲ表明シタル

旨報告ノ件

第一九四号

(二月二十七日接受)

往電第一八八号ニ関シ

二月二十六日「カラハン」来訪ノ機会ニ於テ本件ニ関シ「ハバロフスク」ヨリ競売地ハ之ヲ変更シ難シト回電アリタル趣ナルニ拘ラス同氏カ本邦漁業家ノ為其希望ヲ容ルル様重ネテ莫斯科ニ電請スルコトニ同意シタルヲ感謝スルト共ニ今後共何分ノ御尽力ヲ仰キタキ旨申述ヘタル処「カラハン」ハ本件ニ関シテハ宮川氏ヲ経テ御談アリタル後直ニ莫斯科ニ対シ日本漁業家ノ満足スル解決ヲ希望シテ電報シ

置キタル旨答ヘタリ

六二六 三月七日 酒井露領水産組合組長ヨリ
佐分利外務省通商局長宛

競売地変更ノ要求ヲ打切り前年同様ノ条件及

ビ方法ニヨルコトヲ希望スル旨申出ノ件

付記 三月六日在ハバロフスク露領水産組合代表発組
合宛電報

受第一二六号 (三月九日接受)

大正十四年三月七日

露領水産組合組長(印)

外務省通商局長殿

本月三日通二普通第三三二二号ヲ以テ御通知有之候哈府競売地ヲ浦潮ニ変更ノ件ニ付芳沢公使ヲ経テ「カラハン」氏ニ御交渉ノ件感謝仕候然ル処当組合代表哈府到着後ノ情報ニヨリ(別電参照)此上ハ寧ロ競売地変更ヲ打切昨年施行セルト同様ノ条件及方法ニヨリ貸下セラルル様御交渉相願度奉懇願候也

(付記)

三月六日在ハバロフスク露領水産組合代表発組合宛電報

昨日ノ会見ニ於ケルゴ氏ノ言ニ露側ハ競売参加ノ希望ヲ有スル日本漁業者中渡航ヲ見合ハセタルモノアルニ至レル事由ニ就テハ責任ヲ負フ能ハス即予メ自分迄航行者ノ氏名ヲ通告シクルルニ於テハ必ス競売ニ間ニ合フ様入国許可ノ手續スヘカリシニ日本側ヨリハ僅カニ田中丸鈴木竹村野上ノ四名ノ通告アリシノミナルヲ以テ夫等ニ就イテハ夫々措置セリ然ルニ其他ニ渡航ヲ見合ハセタル者アルノ事由ヲ以テ今更競売ヲ延期スルコト能ハス從テ既ニ入国セル田中丸真藤等ニ於テ入札セハ可ナリ其他ノ個人企業者ニ就イテハ多ク期待セストノ事ナリシヲ以テ我方ニ於テモ過去十數年來ノ主張モアリ今更競売期日ヲ遅ラスル事ハ望ム処ニアラサルモ我等ノ入国テサヘ困難ナリシ不測ノ事由ニ依リ渡航ヲ中止セル多數漁業者ノ希望ヲ達セシムル事能ハサルニ至レル此事態ヲ何等カノ方法ニ依リ転回セシムル一段ノ考慮ヲ要求シ且今後参加希望者ノ有無組合ヘ照会中ナレハ其返事ニ依リ翌日更ニ会見スヘキ旨約シ(本朝三回会見ノ上)渡航ヲ見合ハセタルモノノ氏名及夫等ハ止ムヲ得サレハ組合トシテ責任ヲ負ヘルモノナル旨通告シ且事態はニ至リタル以上夫等ノ希望ヲ達セシムル何等カノ方法ヲ講セサルヲ得

サルヲ以テ熟考ノ上此際彼我互譲ノ上昨年ノ如キ方法ニ依リ渡航セサルモノモ希望漁区ヲ我方ニ一括貸下ヲ受クルヲ得ハ入国ヲ困難ナラシメタル責任ヲ問フノ要モナク且彼我ノ便益ナル旨並ニ会々最近発表サレタル日露条約第三条ニ依ルモ本年ハ昨年ノ実例ニ拠ル旨規定シアレハ条約上ヨリモ昨年ノ方法ニ依ルヲ至当トスヘキ旨申入タル処ゴ氏ハ条約第三条ノ(實際)ノ解釈ニ付我方ノ意見ト相違セルノミナラス昨年ト今日トハ既ニ事態異ナルヲ以テ昨年ノ如ク包括契約ハ困難ナルモ兎ニ角土地全權ト協議ノ上明朝確答スヘキ旨約セリ

右御諒察乞フ 長尾五五号

六二七 三月八日 在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漁区競売ノ結果報告ノ件

別電 三月八日在ハバロフスク山口領事發幣原外務大

臣宛電報第二六号

漁区競売結果

第二五号

本八日漁業庁長官關係官庁代表者立会ノ上漁区競売ヲ執行セリ競売ノ結果別電ノ通尚競落者ハ二週間以内ニ契約手続

ヲ完了スルヲ要ス漁区37/g' 39/e' 97/oノ三ヶ所ハ借区契約ヲ解除セラレタルモノトシテ発表セラレタルモ前年度借区者ノ抗弁ヲ是認シ漁区表ヨリ削除セリ

(別電)

三月八日在ハバロフスク山口領事發幣原外務大臣宛電報第二六号

漁区競売結果

第二六号 別電

漁区番号	競 落 者	競落価額
59/i	OKARO	1320
59/k	Id	1312
97/k	Nitiro	5520
106/b	Krivenko	2665
113/u	Gergazoff	1010
115/a	不落	最低価格 1300
130/j	Tanakamaru	1500
146	Id	5100
163	Id	5500
167/a	Id	6500
170	Id	4080
171/o	Nitiro	12596
182	Dal Mor Product	9000
186/g	Id	7200

195	Dribensky	10260
198/d	Nitiro	7200
198/b	Id	8120
203	OKARO	16000
207	Andreff	13250
210	Dribensky	8280
213	Id	8048
214	Id	8109
234	Andreff	2760
241	OKARO	75000
261/v	Tanakamaru	4050
261/g	Id	4050
270	Id	4100
274	Id	3100
鯨漁区31/a	Nitiro	4520

六二八 三月十一日 在中国芳沢公使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

競売地変更不可能ナル旨ノカラハンノ通報ニ

ツキ報告ノ件

第二三〇号

貴電第一〇八号ニ関シ

三月十一日「カラハン」ヨリ本件自分再三ノ電請ニ拘ラス

今回莫斯科ヨリ既ニ諸般ノ手配ヲ了シタルコトニモアリ競売地ヲ変更スルコト能ハサル趣回電ニ接シタルヲ遺憾トスル旨通報シ来レリ

六二九 三月十一日 在アレクサンドロフスク島田領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

臨時漁業協定ノ内容提示方要請ノ件

第一三号

漁期切迫シ準備スルノ必要アル關係上漁業家ハ本年度ノ北樺太漁業問題ニ就キ軍側並ニ本官方ニ種々問合セ来リ居レルカ此際軍側ニ於テモ本官トシテモ客年浦潮ニ於テ成立セル臨時漁業協定ノ内容ヲ承知シ居ルノ必要アリ就テハ右浦潮協定ノ内容概要御電報ヲ乞フ

六三〇 三月十三日 幣原外務大臣ヨリ
在アレクサンドロフスク島田領事宛(電報)

漁業協定ノ内容ニツキ回答ノ件

第六号

貴電第一三号ニ関シ昨年ノ漁業協定ハ大正十及十一年自由出漁時代ノ漁区貸下料ノ金額ヲ査定スルト共ニ右金額支払

一六 日ソ漁業問題 六二九 六三〇

ノ実行ニ便スル趣旨ヲ以テ本邦當業者代表カ露国政府ヨリ表面競売ノ形式ニ依ルモ實際上隨意貸下ノ方法ニ依リ昨年以降三年間漁区ノ総括貸下ヲ受ケタルモノニシテ右貸下条件中従来ト異ナリ漁業協約改訂ニ至ル迄ノ規準トナルヘキ要点左ノ如シ

一、各漁区ニ付漁獲高ノ標準ヲ定メ超過額ニ対シ一定率ノ税ヲ課ス

二、邦人総漁獲高ヲ日本式製法六割以下欧州式製法三割以上改良漬(箱詰)一割以上ノ率ヲ以テ製造スルコト但シ右比率ハ将来改定セラルルコトアルヘシ

三、鯨及罐詰工場ニ於ケル魚類廢棄物以外ノ物ヲ以テ糶ヲ製造スルコトヲ禁ス

四、魚族保護費トシテ借区料ニ対シ五分ノ税ヲ課ス

五、漁業用品ニ対シテハ課税セス但シ西南区ニ於テハ食塩ニ限り許可料トシテ一布度ニ付二哥ヲ課ス

六、査証料ハ一名ニ付五留五十哥トシ地方税其ノ他ノ公課ハ従来通り露国側ノ定ムルトコロニ依ル

尚詳細ハ郵報ス

六三一 三月十九日 酒井露領水産組合組長ヨリ
佐分利外務省通商局長宛

在ハバロフスク露領水産組合代表ヨリノ意見

伝達ノ件

付記一 三月十四日在ハバロフスク露領水産組合代表

発組合宛電報

二 三月十七日在ハバロフスク露領水産組合代表

発組合宛電報

発第九一号

大正十四年三月十九日

露領水産組合組長(印)

外務省通商局長殿

別紙哈府代表ヨリノ来電写不取敢供貴覽候也

(付記一)

三月十四日在ハバロフスク露領水産組合代表発組合宛電報
代表ノ任務將ニ終了セントスル此ノ機会ニ際シ為念左記ノ
通り進言スルノ必要ヲ認ム

本年度ノ漁区獲得ニ関スル対露交渉ニ於テ日露協約第三条
第二項ノ解釈ニ就キ吾等カ露側ト其ノ見解ヲ異ニシ極力論
争シタルモ遂ニ吾方ノ解釈ヲ強要スルニ途ナク止ムヲ得ス

露領近海ノ漁業ニ関スルソ連漁業庁ノ方針ニ

ツキ当業者ノ談話報告ノ件

第三二号

貴電第一〇号ニ関シ

田中丸ノ言ニ依レハ同人昨冬来哈ノ節淡水ノ補給風波ノ為
メ航海ノ困難及通信ノ必要ノ場合ニハ三露里以内ニ入ルコ
トヲ許シ罐詰一箱ニ付七十五哥支払ヲ条件ノ下ニ三露里以
外ニテノ蟹漁業許可方漁業庁ニ願出テタル処同庁ニテハ三
海里以内ニ於テハ絶対ニ許可セサル意向ヲ有シ前記条件ハ
余リ問題トモナラサル模様ナリシ趣ナリ又真藤ハ入札参加
ノ為メ来哈ノ節第一、三海里ニ入ルコトハ許スヘシ但シ漁
業ハ為サス第二、時々漁夫ヲ上陸セシムヘシ第三、料金一
箱ニ付七十五哥ヲ支払フヘキ条件ノ下ニハ三露里以外ノ漁
シタル処漁業庁ハ第二ヲ除キ三海里以外ナラハ許可スル旨
答ヘタルモ其後ハ何等ノ進展ヲ為シ居ラサル趣ナリ

六三三 三月三十一日

太田警視總監ヨリ
若槻内務大臣、幣原外務大臣他宛

現地ノ事情ニツキ露領水産組合幹事ノ談話通

報ノ件

一六 日ソ漁業問題 六三三

露側ノ主張ハ主張トシテ聞キ流シ普通ノ競売ニ参加スルニ
至リシ事情ハ長尾五五号乃至五十八号電ニ依リ既ニ御諒承
ノ通りナル処右ノ措置ヲ決行スルニ至リタルハ若シ吾等ノ

ナシタル措置カ右協約上吾国権ノ消長ニ影響アルトセハ政
府当局ニ於テ当然適當ノ措置ヲ講セラルルモノト信シタレ
ハコソ決行シタル次第ニ付キ右ノ事情ヲ組合ヨリ為念当局
ニ対シ可然上申方取計ハレタシ 長尾六十八号

(付記二)

三月十七日在ハバロフスク露領水産組合代表発組合宛電報
査証ノ件本日更ニ漁業庁ニ督促シタル処未タ中央ヨリ回訓
ニ接セサルモ近ク接到スヘク又本日莫斯科ニ出張スルゴ氏
ハ本件ヲ第一ニ解決シ電報スヘキニ付心配ノ要ナシト称シ
居ルモ時機ノ関係モアリ且ツ当地ニハ露側ヘノ外交機關ナ
ク殊ニ日露協約成立ノ今日国交上ニ関スル事項ニ吾人カ余
リ深入スルモ考慮スヘキコト認メラルルニ付本件ノ解決
ハ寧ロ北京又ハ浦潮ニ於ケル外交当局ノ折衝ニ依ルヲ捷徑
ナリト認ム可然外務当局ト御打合セアリタシ 長尾七一号

六三二 三月二十八日

在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

外秘第七四九号

(四月一日接受)

大正十四年三月三十一日

警視總監 太田 政弘

内務大臣 若槻 礼次郎殿

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

指定庁府県長官殿

露領水産組合幹事ノ談

露領水産組合幹事 鈴木隣吾

右ハ露領漁区入札ノ為メ「ハバロフスク」ニ旅行中ノ処一
昨二十九日帰京セルカ入露ノ目的及同地事情等ニ関シ左ノ
如ク語レリ

記

一、自分等ノ入露シタルハ「ハバロフスク」ニ舉行セラレ
タル漁区入札ノ為メニシテ本邦漁業家ノ処罰ニ対スル抗
議ノ為メニアラス最近漁業契約違反ノ為メ露国政府ヨリ
処罰セラレタル邦人アルハ事実ナルモ之等ハ毎漁期ニ於
テ見受クル所ニシテ今回ニ限リタルコトニアラサルノミ
ナラス全ク自業自得ノ結果ナレハ全然抗議等ノ余地ナキ
モノナリ

一、重税ノ為メ露國ノ個人漁業家カ苦ミツアルハ事実ナルモ其ノ事業カ外國人ヨリモ振ハサル等ノ事ナク今回ノ入札ニ於テモ外國人十四名ニ對シ露國人ハ十五名ナリキ

一、自分ハ今回カ初メテノ入露ナレハ以前ト比較シテノ話ハ出来サルモ入國者ノ取締ハ頗ル嚴重ナリ然レトモ一旦入國セシメタル上ハ之ヲ付ケ廻ス等ノ事ナク現ニ「ハバロフスク」ニ於テ「ゲ・ペ・ウ」ノ長官ト懇意トナリ屢々來訪ヲ受ケ共ニ飲酒シタルカ聊カモ疑フ様子ナク他愛モナキ戯談話ノミヲナシ酔ヒ潰レル程ナリキ

一、日露交渉成立後一攫千金ヲ夢見テ漫然入露スル者多ク之等ニ對シテハ露國側ニ於テモ警戒シ居レルヲ以テ入國ヲ拒マレ引返ス者モ相当アル由ナルカ露國ニ於テハ總テカ國家經營ナルヲ以テ名モナキ有象無象ノ利權屋カ入露シタリトテ成功セサルハ勿論却テ真面目ナル事業家ノ為メニ害ヲ為スモノナレハ相当取締ヲ要スルコトト思料セラルルカ洗濯屋、理髮屋等ノ店舗ヲ開クモノハ歡迎セラ

ルル模様ナリ
一、入國者ノ取締ノ嚴重ナルハ前述ノ通りナルカ殊ニ携帯品ノ検査ハ嚴密ニシテ我國ニ於テハ新聞紙以外ノ印刷物

ニ對シテハ寛ナルカ如キモ露國ニ於テハ之等ニ對シテモ一々嚴密ナル検査ヲ受ケタリ 云々

右及申(通)報候

六三四 四月十五日

在アレクサンドロフスク島田領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漁区ノ競売ニ関スルソ連側態度通報ノ件

第五五号

(四月十六日接受)

四月十五日「シシリヤンニコフ」ハ「アボルチン」ノ面前ニ於テ本官ニ對シ実ハ自分ハ今回政府ノ命令ニ依リ撤兵後樺太州革命委員會長トナリ「アボルチン」モ亦撤兵後当分殘留シ諸般ノ懸案ヲ日本相互トノ間ニ平和的ニ解決シ度キ考ヘナリト前提シ漁期ノ開始ハ五月上旬ナルカ日本漁業家ノ利害ニ顧ミ近ク浦潮ヨリ小樽經由ニテ漁区競売ニ必要ナル官吏ヲ呼寄セ当地ニ於テ漁区ノ競売ヲ行フヘク二十三箇所ハ殆ト全部日本人ノ手ニ歸スヘシ但シ入札価格ハ從來日本軍ノ為セシモノ余リニ低キニ付相当高クスル積リナルカ兎ニ角漁期迄ニハ是非共間ニ合ハス考ナリト云ヒ居タリ本件ニ付テハ軍ニ於テ詳細先方ト打合ノ筈

六三五 四月二十日

露領水産組合組長ヨリ
外務省通商局長、農林省水産局長各宛

從來派遣軍ヨリ貸付ヲ受ケタル漁区ハ一ヶ年ナリトモ從來ノ条件ニテ操業スルコトヲ希望スル旨申請ノ件

受第一九三号

(四月二十一日接受)

大正十四年四月二十日

露領水産組合組長(印)

外務省通商局長殿

農林省水産局長殿

本月十五日及十七日付通二機密合第二一一号及二一二号ニ抛レハ從來本邦漁業者カ「サガレン」派遣軍ヨリ貸下ヲ受ケタル漁区モ遂ニ近ク露側主權ノ下ニ亜港ニ於テ競売ニ付サルルニ至ルヤモ計ラレサルトコロ仮令価格ニ於テ露人ニ對抗シ得ルトスルモ黒龍江海灣区ノ如キ旧來ノ如ク使用労働者ノ国籍ニ付特別ノ制限アルニ於テハ事實上經營至難ニシテ折角本年モ派遣軍ヨリ繼續貸下ヲ受クル見込ヲ以テ既ニ貸下料ヲ納付シテ着手シタル諸準備ヲ全然水泡ニ帰セシムルノ結果ヲ生スヘキニ付已ムヲ得ス右競売ニ依リ漁業ヲ

一六 日ソ漁業問題 六三五 六三六 六三七

繼續スルノ外ナキ場合ニ立至ルトスルモ切メテ本年一ヶ年限リハ派遣軍ヨリ貸下ヲ受ケタルト同一ノ条件ノ下ニ漁業シ得ル様可然御配慮相煩度時期切迫ノ折柄取急キ此段及申請候也

六三六 四月二十二日

在アレクサンドロフスク島田領事
ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漁業問題ニ関シソ連側トノ会谈内容報告ノ件

第五九号

四月二十二日漁業問題ニ関シ本官ヨリ「アボルチン」ニ對シ急速解決方重ネテ督促シタル処「ア」ハ結局二三ヶ所ハ本年ニ限り從來通り日本漁業家ノ繼續經營ヲ承認スヘク只從來軍ノ定メタル借区料ハ余リ安価ナルニ依リ右ハ追テ公平ナル評価ニ依リテ定ム可キコトニ保留シタシト答ヘ尚公平ナル評価ニ依ル名目ノ下ニ故意ニ高価ニ評価スルコト絶對ニナシト云ヘリ右ノ結果具体的ノ取極ヲナス為兩國専門委員ノ会合ヲ見ルコトナレリ

六三七 四月二十四日

在アレクサンドロフスク島田領事
ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

八八一

漁業問題ニ関シソ連側ノ回答報告ノ件

第六三号

往電第五九号ニ関シ

「アボルチン」ハ本官ト会谈後莫斯科ヨリ更ニ電訓ニ接シタル趣ニテ先方ノ意見急変シ約束ノ時間ニ遅ルルコト二日ニシテ回答文ヲ寄セタルカ其ノ内漁業ニ関スル部分左ノ如シ

漁業問題ニ関シ日本占領軍ニ於テ貸下タル二三ヶ所ノ漁区ノ本年度貸下継続ハ不可能ト認ムルニ付（全権？）委員会ハ日本軍ノ希望ニ副フ為メ例外トシテ近日亜港市ニ於テ鮮漁区ノ貸下競売ヲ行フヘシ貸下条件並貸下ニ付スヘキ漁区ノ明細表ハ近日追報スヘシ五六ヶ所ノ漁区ニ関シテハ一年原則ニ基キ当該漁区ノ継続ヲ「ハバロフスク」ニ於テ執行スヘシ

六三八 四月二十四日

薩哈噠州派遣軍佐藤參謀長ヨリ
津野陸軍次官宛（電報）

鯨漁区ノ貸下ケ競売ヲアレクサンドロフスク

ニ於テソノ他ノ競売ハハバロフスクニ於テ施

行スル件

外二二一

漁業問題ニ関シテハ日本軍カ貸下タル二十三箇所ノ漁区ヲ本年度貸下ケテ継続スルコトハ不可能ト認メラルルニ就キ全権委員会ハ日本軍ノ希望ニ添フ為メ例外トシテ近日亜港市ニ於テ鯨漁区ノ貸下ケ競売ヲ行フヘシ貸下条件並貸下ニ付スヘキ漁区ノ明細表ハ近日追テ通報スヘシ
五十六箇所ノ漁区ニ関シテハ一般ノ原則ニ基キ当該漁区ノ競売ヲ「ハバロフスク」ニ於テ施行スヘシ

六三九 五月二日

幣原外務大臣ヨリ
在ソ連邦佐藤臨時代理大使宛（電報）

鮭鱒ノ漁獲禁止令ニ関シ漁業協約改訂協議成

立マデハ邦人ニ対シ本禁令ヲ適用セザルヨウ

申入レ方訓令ノ件

第五五号

山口来電ニ依レハ極東革命委員会ハ魚族蕃殖ノ目的ヲ以テ「ハバロフスク」ヨリ下流ノ黒龍江及同海湾ニ於テ本年ヨリ五年間夏鮭ノ漁獲ヲ又本年ヨリ八年間奇数年度ニ於テ鱒ノ漁獲ヲ禁止セル趣ナリ右ハ最近同方面ニ於ケル漁況ノ変調衰退ニ顧ミ定メタルモノト認メラルルトコロ魚族蕃殖ノ

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

黒龍江及同海湾ニ於ケル漁獲制限問題ニ関スル件

黒龍江下流及同海湾ニ於テ夏鮭及鱒ノ漁獲ヲ制限セントスル在「ハバロフスク」極東革命委員会ノ決定ニ関シ漁業協約成立迄之カ実施ヲ延期スル様勞農政府ニ申入方御下命相成敬承仍テ別紙^{（省略）}ヲ通リ覚書ヲ作成シ先方ニ交付致置候間右様御承知相成度本件ニ対スル先方回答振リハ追テ電報可致候ヘ共右不取敢報告申進候 敬具

六四一 五月十八日

松村農林省水産局長ヨリ
広田外務省欧米局長宛

漁区競売ニ関シ調査依頼ノ件

付記 五月二日薩哈噠派遣軍軍政部長ヨリ農林省水産局長宛電報

十四局第一〇一九号

（五月十九日接受）

大正十四年五月十八日

農林省水産局長（印）

外務省欧米局長殿

薩哈噠州派遣軍軍政引繼ニ関スル交渉事項中漁業ニ関シ先般薩哈噠軍政部長ヨリ別紙ヲ通電報有之候ニ付夫々關係

為ニハ本禁令ノ如ク邦人ノ漁業權ノ實質ヲ毀損スルコトナクトモ他ノ方法ヲ以テ例ヘハ漁獲ノ場所目的及方法等ニ特種ノ制限ヲ加フルコトニ依リテ（一九二三年極東漁業庁出版「極東ノ漁業及毛皮業」ニ依ル）之カ目的ヲ達スルコト困難ナラスト思考セラルルニ付我方トシテハ近ク開カルヘキ漁業協約改訂商議ノ際篤ト本件ヲ協議スルコトトシ少クモ其ノ協議成立迄邦人ニ対シテハ本禁令ヲ適用セサル様致シ度ク本件ヲ不問ニ付スルニ於テハ協約改訂ノ際我方ニ取リ不利ナルヘキヲ以テ先方ノ諾否如何ニ拘ハラス右申入ヲ為サムトスルモノナルニ付右ニ御含アリタシ
尚右御交渉ノ結果電報アリタシ

六四〇 五月六日

在ソ連邦佐藤臨時代理大使ヨリ
幣原外務大臣宛

黒龍江及ビ同海湾ニ於ケル漁獲制限ニツキソ

連側ニ申入レノ件

機密公第三号

（五月二十二日接受）

大正十四年五月六日

在「ソヴィエト」連邦

臨時代理大使 佐藤 尚武（印）

一六 日ソ漁業問題 六四〇 六四一

当業者ニ通達致シ候処日露実業株式会社ニ於テハ同社主事ヲシテ右電報中ノ本年亜港ニ於テ随意契約ニ依リ貸下セラ
ルヘキ漁区ノ貸下方ニ付在亜港露側委員ニ交渉セシメタル
処右漁区ハ他ノ漁区ト同様哈府ニ於テ競売ニ付セラルルコ
トニ決定セリトノコトニ有之且ツ同地ニ於テハ目下一般私
用電信不通ノ為右ニ関スル交渉及取調方法無之困難致居ル
旨ヲ以テ同社ヨリ右事実ノ取調方露領水産組合ヲ経テ当方
ヘ申出ノ次第有之候ニ付不取敢陸軍省ニ問合セタル所同省
ニ於テモ右事情判明セサル趣ニ付在亜港島田領事ニ対シ右
取調方至急御訓電相煩度此段及依頼候也

(付記)

五月二日薩哈噠派遣軍軍政部長ヨリ農林省水産局長宛電報
薩政五九号 至急

三エスエル(勞農露國)委員ト交渉ノ結果継続漁区ノ内
(亜港)以南五箇所漁区ヲ本年鮭鱒ニ限り現借区者ト随意
契約ニテ貸下其ノ他ノ漁区ハ本年(哈府)ニ於テ競売ニ付
シ(前記五箇所ノ契約セサル場合ハ共ニ哈府ニ於テ競売ニ
付ス)又本年軍ニ於テ発表スル予定ナリシ漁区ハ勞農露國
ニ於テ適當ト認ムルモノノ前記漁区ト合セ哈府ニ於テ競

六カ所ノ競売執行予定ヲ報ジタモノ

六四三 五月二十日 幣原外務大臣ヨリ
在アレクサンドロフस्क島田総領事代
理宛(電報)

漁区競売ニ関シ調査方訓令ノ件

第三〇号

露國側カ本年随意契約ヲ以テ貸下ヲ認メタル貴地以南ノ漁
区五ヶ所中日露実業会社關係ノモノニ付テハ其ノ後露國側
ニ於テ之ヲ他ノ方面ノ漁区ト共ニ哈府ニ於テ競売ニ付スル
コトトナリタル趣ノトコロ右ノ真相御取調ノ上電報アリタ
シ

六四四 五月二十一日

幣原外務大臣ヨリ
在ハバロフस्क山口領事宛(電報)

漁区競売期日延期ニツキ交渉方訓令ノ件

第二六号

貴電第四七号末段ニ関シ入札参加希望者アルモ旅券下付及
査証手續上本月三十日発便船ニテ渡航ノ予定ナルニ付六月
四日以後ニ競売延期方交渉アリタシ

売スル筈漁区製魚区ノ残置物件ハ勞農露國国内法ニ抛リ便
宜処理スル筈右当業者ヘ伝ヘラレタシ

六四二 五月十九日 在ハバロフस्क山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

競売予定漁区ニツキ報告ノ件

第四七号

往電第四六号ニ関シ
(編註)

競売予定漁区左ノ通

六〇乃至八〇及六二―a、六五―a、六五―a、六六―
a、六〇―a、六八―b、六八―v、六八―g、六九―
a、七〇―a、ノ三十ヶ所

尤モ右ノ内四ヶ所ト外ニ一ヶ所ハ鯿漁期ノ關係上既ニ亜港
ニ於テ競売ニ付セラレタルニ付右四ヶ所ハ同地ヨリ競売漁
区ノ通知アリ次第前記予定漁区中ヨリ削除セラル趣ナリ尚
前記漁区ニ対シ我当業者中入札参加希望者アル場合ニハ本
月三十日敦賀発便船ニテ渡来スルトシテ漸ク六月三日当地
ニ着シ得ル有様ニ付四日以後ニ延期セシムル必要アリ就テ
ハ希望者ノ有無折返シ御回示ヲ請フ

編註 六月一日ハバロフस्कニ於テサガレン沿岸海面漁区二十

六四五 五月二十二日 在ハバロフस्क山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漁区競売期日延期ニツキ連側ト交渉ノ結果
報告ノ件

第五〇号

貴電第二六号ニ関シ

「マモノフ」ニ申入レタル処同官ハ本官カ何等公ノ任務ヲ
有スルヤ否ヤヲ問ヒタルニ付「ヨツフェ」ノ査証シタル旅
券及極東革命委員會議長發給ノ領事館財産檢分許可書ヲ示
シタル処直ニ同議長ニ電話ヲ掛ケタル後競売延期ノ必要ヲ
「コップ」ヨリ確認シ来ルニ於テハ本邦当業者ノ必要トス
ル日数丈ケ延期スヘキ旨答ヘタリ就テハ右「コップ」ヘ御
交渉ヲ請フ卑見ニ依レハ競売期日ハ六月五日頃ヲ適當ト思
考ス就テハ当業者ハ十日浦潮発便船ニテ帰國シ得可シ

六四六 五月二十二日 在ハバロフस्क山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

競売漁区ノ追加ニツキ報告ノ件

第五一号

往電第四七号前段ノ外組合側ノ申請ニ依リ六四b、六八

一六 日ソ漁業問題 六四七 六四八 六四九 六五〇

d、六八e、七〇a、七三a、八〇v、八〇z、八一vヲ追加発表スルコトナレリ

尚ホ亜港ニテハ競売ヲ執行セサリシ旨ノ電報アリタルニ依リ発表漁区ハ全部競売ニ付スル趣ナリ借区期間ハ孰レモ一ケ年ナリ

六四七 五月二十三日 在ソ連邦佐藤臨時代理大使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

黒龍江及比同海湾ニ於ケル漁獲制限ニツキソ

連側ノ回答報告ノ件

第一三九号

(五月二十四日接受)

貴電第五五号ニ関シ

御電訓ノ趣旨ハ之ヲ口上書ニ認メ四日付ヲ以テ労農当局ニ交付シ置キタル処二十三日付ヲ以テ一九二四年度ニ於テハ黒龍江及同海湾ニ於テ日本人ニ漁区ヲ貸下ケタルコトナク從テ新漁業協約ノ成立迄ハ一九二四年ノ慣行ヲ維持スヘシトノ一九二五年一月二十日ノ条約ノ規定ニ基キ本年度ニ於テモ同地方ノ漁区ヲ日本人ニ貸下ケサルヘキニ付漁獲制限ノ規定ハ日本人ノ利益ヲ害スルモノニ非ス且右条約第三条ノ規定ハ日露人ニ均シク適用セラルヘキ魚族保護ニ関スル

漁区競売期日延期ニツキコップトノ交渉結果

ニ関スル件

第二七号

貴電第五〇号ニ関シ「コップ」ニ交渉シタル処同官ハ六月五日マテ競売延期ノ必要ヲ確認シ其旨直ニ貴地官憲ニ電報スヘキ旨答ヘタリ就テハ右「マモノフ」ニ御話ノ上競売期日確定次第電報アリタシ

六五一 五月二十七日

在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

競売期日決定ノ件

第五四号

貴電第二七号ニ関シ

競売期日六月五日ニ確定セリ

六五二 五月三十一日

在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

黒龍江下流及比同海湾漁区競売ニ関スル公告

ノ件

第五五号

漁業庁ハ六月十五日尼港ニ於テ黒龍江下流及同海湾短期漁

一六 日ソ漁業問題 六五一 六五二 六五三 六五四

八八六

新規則ノ制定ヲ禁シタルモノニ非サル旨回答アリタリ

六四八 五月二十三日

在アレクサンドロフスク島田総領
事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

六月ノハバロフスクニ於ケル競売ハ五漁区ヲ

含ム旨回答ノ件

第八五号

(五月二十四日接受)

貴電第三〇号ニ関シ

右ハ当地ニテハ不明ニ付哈府ニ問合せ中ナルカ井上司令官トノ話合モアルニ付例ノ五漁区ハ六月一日競売内ヘ包含セラレ居ル筈ナリト思考スト先方ハ云ヘリ

六四九 五月二十四日

在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

サガレン沿岸海面漁区競売ニ関スル公告ノ件

第五三号

漁業庁ハ六月一日哈府ニ於テ薩哈噠沿岸海面漁区競売ヲ執行スル旨二十四日発行当地新聞ニ公告セリ

六五〇 五月二十六日

幣原外務大臣ヨリ
在ハバロフスク山口領事宛(電報)

区製魚区競売ヲ執行スル旨三十一日発行当地新聞ニ公告セリ

六五三 六月一日

在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

競売漁区ニハサガレン海湾漁区ヲ含マズ外国

人ニハ競売参加ヲ許サザル件

第五六号

往電第五五号ニ関シ

競売漁区中ニハ薩哈噠側海湾漁区ヲ含マサル趣尚外国人ニハ昨年同様競売参加ヲ許サス

六五四 六月五日

松村農林省水産局長ヨリ
佐分利外務省通商局長宛

漁区競売ニ関シソ連側ト交渉方依頼ノ件

十四局第一二三三号

大正十四年六月五日

農林省水産局長 松村 真一郎(印)
外務省通商局長殿

五月二十二日付通二普通合第八九一号及六月一日付通二普通合第九六九号ヲ以テ黒龍江海湾区漁区競売ノ件ニ関シ在

八八七

哈府山口領事ヨリノ来電写御送付有之候処右ニ依レハ黒龍江下流区ニ於ケル漁区ノミニ対シ競売ヲ施行シ同海湾区ニ於ケル漁区製魚区ニ対シテハ本年競売ニ付セサル趣ノ処同区ハ日露漁業協約ノ圈内ニ属シ我当業者ノ漁区製魚区ノ貸下ヲ請願シタル場合ハ日露漁業協約付属議定書第四条ノ規定ニ依リ競売ノ方法ニ依リ之ヲ貸下スルモノニ有之尚曩ニ薩哈噠派遣軍々政引継ノ際ニ於ケル交渉ノ結果ニ依ルモ本年同軍ニ於テ繼續貸下許可ヲ与ヘタル同区ニ於ケル漁区製魚区少クトモ五ヶ所ハ来ル六月十五日尼港ニ於テ競売ヲ執行セラルル漁区中ニ編入シ競売ニ付スヘキモノト被認候ニ付テハ右至急可然御交渉相成候様致度此段申進候也

(欄外記入一)

同海湾区漁区中薩哈噠側ヲ含マサルナリ

(欄外記入二)

露国側ニ於テモ随意契約ヲ認メタルモ右纏マラズ六月五日他ノ薩哈噠沿岸漁区ト共ニ競売ニ付セラルルコトナレリ

六五五 六月五日 在ハバロフスク山口領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

漁区競売ノ結果報告ノ件

六五a 八五〇〇

六五六 六月十日 松村農林省水産局長ヨリ
佐分利外務省通商局長宛

黒龍江海湾区漁区競売ニ関シソ連側ニ抗議方

依頼ノ件

十四局第一二三三号 (六月十一日接受)

大正十四年六月十日

農林省水産局長 松村 真一郎(印)

外務省通商局長殿

黒龍江海湾区漁区競売ノ件ニ関シ本月五日付局第一二三三号ヲ以テ申進置候次第モ有之候処同伴ニ関シ更ニ本月三日付通ニ普通合第九九四号ヲ以テ在哈府山口領事ヨリノ来電写御送付有之右ニ依レハ露側ハ同区内薩哈噠沿岸ノ漁区ヲ除キ大陸側ノ漁区ノミニ対シテ競売ヲ施行シ且ツ外國人ニハ其ノ競売ニ参加スルヲ許ササル趣右ハ曩ニ申進置候通薩哈噠派遣軍々政引継ノ際ニ於ケル交渉ノ結果ニ違背スルノミナラス邦人ノ競売参加ヲ拒否スルニ至ツテハ明ニ日露漁業協約ノ規定ニ反スルモノト被認候ニ付テハ此ノ際嚴重ニ抗議相成候様致度此段申進候也

一六 日ソ漁業問題 六五六 六五七

第五九号

五日漁区競売ヲ執行シタル処其際組合側ノ申請ニ依リYangsary Berengaisky ノ二漁区ノ位置不明ノ為六日終局的ニ決定スヘキ条件ノ下ニ追加発表セリ競売ノ結果左ノ通り

番号	競落者	競落価額
七五	橋本	一六一〇
七六	Donon	一二〇二
七七	田村	一一〇〇
七八	Donon	一一〇五
七九	田村	一一〇〇
Yangarsky	打川	一一〇〇
Berengaisky	打川	一一〇〇
不落漁区左ノ通り		
番号	最低価格	
六二	二五〇〇	
七三	二五〇〇	
七四	四〇〇〇	
六六a	二二〇〇	

追テ黒龍江下流区及同海湾区ノ競売漁区表判明致候ハハ御回報相煩度申添候

六五七 七月七日 第二驅逐隊司令ヨリ
財部海軍大臣、鈴木軍令部長各宛(電報)

露国側ノ蟹工船臨検等ニツキ報告ノ件

第二驅逐隊機密第二〇番電 (七月十一日外務省接受)

第二驅逐隊情報第五号

一、六月二十七日午後十時露国義勇艦隊汽船「シイシャ」北緯五十六度二十三分東經百五十五度四十一分距岸五哩ノ地点ニ於テ蟹工船豊国丸ニ官吏数名ヲ送り臨検シ査証其他調査ノ後予テ本職ヨリ露文ニテ認メ各蟹工船ニ渡シ置キタル(帝國政府ハ三哩以外ヲ公海ト解シ公海ニ於ケル漁業ハ政府ニ於テ何等差支無シト認ムトノ保証ノ下ニ出漁セルモノニシテ付近ニ我驅逐艦アルヲ以テ交渉サレ度云々)ト記セル書類ヲ示セルニ直ニ退船シ官吏ノ態度極メテ快活ニシテ不遜ノ点ヲ認メサリシト云フ此事件以来各蟹工船ハ大ニ安心シテ作業シ居レリ
二、陸上各地露国官憲ノ態度モ亦昨年度以前ニ比シ其数ヲ減セルノミナラス態度極メテ丁寧別日ノ感アリト云フ是等

ハ日露国交回復直接ノ結果ナリト察セラル

三、蟹工船業者中「トロール」ハ将来有利ナランカト考フルモノアリ五月中豊国丸ノ随伴セル第三魁丸ニ試ミニ「トロール」ヲ曳航セシメタルニ付近他船ノ漁網荒レ「トロール」ノ脅威ヲ感セル結果一部分蟹業者（龍裕丸）ノ反感ヲ買ヒタル事実アリシカ如キモ「トロール」ハ効果不良ニシテ其後実施セス今日ニ於テハ問題トスルモノナク相互円満ニ作業シツツアリ「オゼルナヤ」南沖陸岸ニ近ク出漁セル占守島ヲ根拠トスル陸上蟹業者発動汽船六月二十四日頃露国汽船ニ追ハレタルモ濃霧ヲ利用シ之ヲ脱セル由報告ニ接セルモ其後異状ナシ 七月七日

六五八 十月十四日 在ハバロフスク二瓶総領事ヨリ
幣原外務大臣宛

サガレン沿岸タムレオ漁区経営ニ関スル件

日本外交文書 大正十四年第一冊 終

公第三二号

大正十四年十月十四日

八九〇
(十月二十七日接受)

在ハバロフスク

総領事 二瓶 兵二(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

薩哈噠沿岸「タムレオ」漁区経営ニ関スル件

本件ニ関シ客月十六日付通二普通第一号ヲ以テ御申越ノ趣敬承当地漁業部長ニ就キ取調タル所国营企業ニ対シテハ極東革命委員会ノ決定アラハ競売ノ方法ニ依ラスシテ漁区ヲ貸下得ヘキ規定ナルニヨリ右決定ニ基キ極東水産株式会社(ダリモレプロドクト)ニ前記漁区ヲ貸下タル次第ナリトノ趣ニ付右様御承知相成度此段回報申進ス

編註 右二瓶総領事来信写ハ十月二十九日齋藤外務省通商局長代理ヨリ松村農林省水産局長宛送付サレタ